

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 5 回 (仮称) 新・都市農業振興ビジョン検討委員会				
事務局 (担当課)		農政課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 3 3 (直通)				
開催日時		平成 2 6 年 1 1 月 1 8 日 (火) 午後 2 時 ~ 4 時				
開催場所		相模原市立産業会館 4 階国際商談室				
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり)				
	その他	-				
	事務局	9 人 (経済部長、農政課長 他 7 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	2 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 ・(仮称)新・都市農業振興ビジョン検討委員会検討報告骨子(案)について 3 その他 4 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

大木委員長の進行により開会し、傍聴者2名の入室が承認された。

2 議題（ は委員の発言、 は事務局の発言）

議題に入る前に、事務局から（仮称）新・都市農業振興ビジョン検討委員会検討報告骨子（案）について説明を行った。その後、大木委員長の進行により、議事に入った。

相模原市の農業において懸念される点は、リニア中央新幹線の建設や私鉄延伸等により都市化が進み、農地などが減少していくことである。平成元年には約2000ヘクタールあった経営耕地が、現在は半分ほどになっている。今ある農地をどのように守っていくのかをビジョンに盛り込むべきではないか。また、ビジョンは10年間の計画なので、10年間の工程表を作るべきではないか。

農地減少の要因として、相続税の問題が大きいと思う。相続の際、相続人が複数いれば、農業に対する情熱に関係なく、基本的に平等に配分される。農地は商品ではなく、生産場所であるということ意識しなければいけないと思う。

今後更に急激な都市化により貴重な農地の減少が懸念される中、確保すべき農地を明確にして、有効な保全策を検討する必要があると考えている。

「農業関係団体」について、骨子案では農協等を想定しているのだろうが、例えば加工業者などの民間企業を加えてもよいのではないか。

相模原の農業をみんなで守っていくという意識が大切なので、推進主体が集まる話し合いの場を年に数回設けてもよいのではないか。

ビジョンの基本施策について、工程表を作成してほしい。

検討報告書の中には工程表を盛り込む方向で調整していく。特に重点プロジェクトについては、具体的な工程を示したい。

基本施策「農地の保全・有効活用」における「農業生産基盤整備」については、中山間地域にターゲットを絞ってはどうか。

3 その他

事務局から次回の日程等に関する事務連絡を行った。

・平成27年1月21日(水) 午後2時～4時

4 閉会

第5回(仮称)新・都市農業振興ビジョン検討委員会委員名簿 (50音順・敬称略)				
	所属団体等	氏名	備考	出欠席
1	相模原市認定農業者連絡会 副会長	天野 國彦		欠席
2	公募委員	池田 珠三子		出席
3	麻布大学獣医学部 教授	大木 茂	委員長	出席
4	相模原市農業協同組合 理事	小俣 シゲ子	副委員長	出席
5	公募委員	上島 都子		出席
6	一般財団法人農村開発企画委員会 特任研究員	楠本 侑司		出席
7	株式会社藤野倶楽部 代表取締役	桑原 敏勝		出席
8	津久井郡農業協同組合 専務理事	坂間 陸二		欠席
9	パルシステム生活協同組合連合会 産直開発課長	高橋 英明		出席
10	相模原市農業委員会 副会長	高橋 三行		出席
11	相模原市農業協同組合 常務理事	長谷川 辰夫		欠席